

# 小川尚一議会ほうれんそう

発行:小川尚一と

共に歩む会

連絡先:原町市南

町1-132

議員活動と議会の報告(ほう)・連絡(れん)・相談(そう)で市民とネットワーク!!

## 2007年は「夢」と「希望」をもてる南相馬市に

### ～「問責決議案」可決!～

平成18年12月議会最終日に於いて、建設経済常任委員長からは、小高区文化公園建設のための用地取得する土地の承認については、委員会報告は全会一致で反対であり、本会議に於いても異議なしで否決となりました。市長は、早速記者会見を開き、小高区地域協議会に意見を聞いて判断すると述べたそうですが、議会で議決されてもさらに市民に聞くというのは議会軽視では無いでしょうか?

道の駅条例制定については、継続審査となったため、通常本会議に上程されなかったのですが、宝玉議員から動議があり、採決の結果14対11で継続審査となりました。

また、金場地区の大型商業施設建設反対の請願については、委員会報告は採択でしたが、意義があり、16対9の賛成多数で採択されました。

そして、終了間際には市長のこれまでの行政の進め方、議会对応について、問題があったとして「問責決議案」の動議が、渡部寛一議員から出され、12対12退場1名の賛成反対可否同数の結果、議長判断で決議されました。

### 第2の夕張市とならないためにも!

この議会では、初めて市民の声が採決の中で有効に生きたと思います

私は、常に第二の夕張にならないようにするためには、議会のチェックが重要だと申し上げてきましたが、その役割が一部果たせたといえます。しかし、何もかも反対するのでは、それは決して市民のためになっているとはいえません。例えば、予算全てを反対するという事は、行政機能が停止するという事ですから、議会の正しい姿とは言えません。

市長は、常に挨拶で、議会と執行部は行政という車の両輪だと言われます。両輪であれば、もっと市民の声を、市民を代表する議会の声を聞いて市政を執行すべきです。市長の言われる車の両輪とは、どうも議会が執行部に合わせる様に促していると思われまます。

何故なら、反省の姿が見えないからです。今年1月の合併後最初の選挙で僅差で当選された時も、所信では市民の声を聞いて市政執行に当たると述べられているのですが、その後の対応はそのようになっていません。結果が、タラソテラピー(鹿島区健康増進複合施設)建設の中止です。

勇気ある撤退と評価の声もありますが、私たちは合併当初の1月から訴え続けていたのです。結論を出すのに1年を費やし、それにかかった人件費を含めた経費(税金投入)を考えれば、もっと早い決断をすべきでした。それも今回の市議会議員の改選選挙結果を踏まえての対応とも思われます。是非とも、市民のための市政執行のためにも市民と議会の声を聞いて行政経営に努めていただきたいというのが、「市長問責決議」の意味でもあります。

## 市民の声を聞くための情報公開、説明責任を果たすべき!!

12月議会終了後、市民の皆さんから激励の言葉をいただきました。「議会は行政の追認機関では無いのだから、ダメなものはダメと言って貰いたい。」「是々非々で信念を貫き通してほしい。」といったもので心強い限りです。

様々な考えがある中で、その都度判断をしていくには、集中力と決断力が必要です。そして、確かな判断をすることが議会に求められており、これまでのように執行部から提案されたもの全てにYESとするならば、議会は機能しなくなり必要ないと考えます。

また、全てにおいて100%はなく、より多くの市民の皆様が望むものや、「夢」と「希望」のもてるまちづくりのビジョン実現に必要で、さらに市民に対して情報を公開し説明責任を果たしているものであれば「賛成」としていきたいと考えます。

市民のみなさまからの評価の声が、何よりの励みであり、またご意見や叱咤も遠慮なくいただき育てていただければと思います。ありがとうございました。

### 12月議会一般質問より

## 大型商業施設の児童生徒への影響は!

質問金場地区ショッピングセンター建設の開発行為申請受理は、市長独自の判断か伺います。

答弁南相馬市長としての判断です。

質問行政手続き上問題ないとのことだが、これまでは県の開発許可制度に則った対応だったが、それとは異なる部分であっても法律に違反しないので受理したということか。

答弁全くその通りです。

質問児童生徒や交通への影響への取り組みについて伺う。

答弁児童生徒に及ぼす影響については、協定を結ぶなど影響の出ない策を講じるよう対応します。交通渋滞については、付加車線の配置、信号設置等の対策を行うよう設置者に求めてまいります。

質問原町高校の生徒が自らショッピングセンターに関するアンケートを実施し、三年生は6割が反対としている。理由に交通と騒音、事故の心配、学力低下の懸念、商店街や駅前が寂れるという声もあるが市長はOB会会長としてどう受け止めているか伺う。

答弁心配をすれば心配の種は切れない。どんな環境にあっても社会性、自立心を高めていかなければならないと考える。

残念ながら市長は、原町高校同窓会会長の立場にありながら、子供たちが危惧している問題についての説明責任を果たしていません。以前の質問でも金場地区の開発行為の申請受諾（県条例制定の2日前）についても行政手続き上問題無いという答弁。教育施設の目の前に24時間営業の大型商業施設建設について、政治的判断ができないのか？教育、福祉、生活、経済、環境といったまちづくりの視点もなく事務手続きだけで行政を運営するならば、トップやリーダーというものは必要なく、その結果が「夕張市」であることは明らかです。

少なくともこの地域の将来を担う子供たちの考えもしっかりと受け止め、不安を解消し、「夢」や「希望」が持てる政策を、積極的に取り組んでいただきたいと考えます。

私は、昨年9月議会で原町高校に公式記録の取れる陸上競技場や、スポーツ公園、運動施設を整備することを提案しましたが、大型商業施設を優先して誘致するとの残念な答弁でした。